

Q 教員の学習指導を見るとき、どのような視点で見ているのか教えてください。

A 教員の学習指導を見るときは、ともすれば、指導が上手か下手かといった点に目がいき、一面的な評価をしてしまいがちです。しかし、そのような見方や評価は避け、校長としては、大きく学校教育目標や指導の重点などの具現化をどのように図ろうとしているかという視点と、高い指導力を有する人材育成の視点から見ていくことが大切です。

学校教育目標や指導の重点などの具現化を目指す視点

4月当初に校長が学校教育目標や克服すべき課題解決を図るための指導の重点などを示しても、時間の経過とともに、どこかに追いやってしまっているということがよくあります。各教科等の指導は、独自の枠組みの中で展開され、それぞれの目標の達成を目指し取り組まれているのも事実です。しかし、同時に学校教育目標の達成や課題克服を目指した指導でもあるはずで、そこで、学習活動においても学校はもちろんのこと、地域の実態や課題、保護者の願いなどに配慮した指導がなされているかどうかということも大切な視点になってきます。すなわち、目の前で展開されている学習指導が学校教育目標や課題克服のための指導の重点の何に基づき、あるいはどの部分と関わって行われているのか、そして、どのような形でその実現や克服を図ろうとしているのか、指導者の意図やねらいを見極める必要があります。

高い指導力を有する人材育成の視点

学習指導力の向上は、教員にとって重要な課題です。学習指導は児童生徒に知識や技能等を教授するだけではなく、教員がより高い指導力を身に付けるための学びの場でもあります。そういう意味において、学習指導は、児童生徒と教員の「共学び」の場であるといえます。

したがって、教員の学習指導を見るときは、事前から事後までを見通した上で、本時の学習指導を見ていくことが大切です。本時の参観に限って言いますと、次の点に気を付けることが肝要です。

- ・教員が児童生徒の成長を丸ごと捉え、教科等の学力をこの時間にどのような方法で、どのように付けようとしているか。
- ・児童・生徒理解に基づいた指導が行われているか。
- ・どのように学習規律や学習習慣を育てようとしているか。
- ・汎用性の高い学習方法をどのように獲得させようとしているか。
- ・主体的かつ対話的で深い学びの視点から学習指導を捉え、どのような学ぶ力や態度の育成を図ろうとしているか。
- ・どのように望ましい人間関係を醸成し、しっかりした学級（学習）集団を育てていこうとしているか。

また、教員が自らの成長のために、以前の自分の課題の克服に立ち向かっているか、効果的な指導法や新たな指導の方途を求めているか、自身の教職生活全体に関わるスキルアップに挑戦しているかといった観点から参観することが大切です。

その上で、事前に授業観察の視点を授業者に明示するとともに、授業記録を詳細にとるようにしましょう。そして、事後に指導・助言する際には、「まず、授業者自身の思いや感想を聞く。」「次に、良い点を見つけ褒める。」「その上で、改善点や新しく取り入れれば良い点を付け加える。」「最後に、今後の課題を明確にもたせる。」ことがポイントです。

ここで取り上げた観点から授業を見るということは、教員の指導力向上とともに、児童生徒の学力と発達を保障していく上からも大切であるといえます。

教員の学習指導を見るときは、単にその教科等の指導の有り様を見るだけではなく、その学習自体が学校の課題解決とどう結び付き、同時に以前と比べ指導者として、また学び続ける教員個人としての成長を見取る視点から臨むことが大切です。

校種

全校種